

姉妹都市

Sister Cities



サーモンアーム

No. 8
2003.3



↑ 東町とサーモンアーム市の交流を刻み込んだ「友情の家」のテープカット (02. 3. 30)

←「友情の家」の全景



バーベキューハウス「友情の家」完成

— サーモンアーム市からの贈りもの —

大きな贈りものが、サーモンアーム市から届きました。この写真に見るのが、贈りもの「友情の家」です。実はこれ、バーベキューハウスとして建てられたログハウスなのです。

5年前、姉妹都市交流10周年を記念して、東町からサーモンアーム市へ贈った「友情の門」のお返しとして頂いたものです。

8本の柱にがっちりと支えられた屋根が二方に延びたこのハウスには、大きな炉が備え付けられ、材料さえ持ち込めば、いつでも誰でもバーベキューが楽しめます。

カナダで切り刻んだ木材が船で運ばれ、3月14日からメイズ市長と4人の職人がわずか2週間で建ち上げました。その後、来日したサーモンアーム市からの親善大使団のさよならパーティーに合わせて竣工式を行いました。

双方の代表によるテープカットは、ご覧の通り圧巻でした。ビッグな贈り物の交換が、交流の絆の強さをしみじみ感じさせるものでした。

総合センター敷地にあるこの「友情の家」は交流のシンボルとして、これから東町民に親しまれていくことと思います。

Salmon Arm 2002

第12回親善大使10名

7月27日～8月6日



生きた異文化交流

団長 吉田 薫



姉妹都市交流事業が始まって12年目、7名の団員と引率者3名、11日間の生活体験をさせていただきました。

団長としての責任や心配、ことばの壁も厚かったが、我々の不安をよそに、団員達は、それぞれの家族との交流を立派に果たしてくれました。私自身もルーディー家で楽しく充実した日々を送ることができました。

明るく開放的なカナダの人達から沢山学びました。

感受性の一番強い中学、高校時代に、外国の人達と接した体験は、必ず今後に生かせることと信じています。これからも交流を続けたいものです。



木内義延 副団長

きさくな方でしたので英会話に苦しみながらも楽しく過ごしました。



二度目のカナダ。カナダの友達とまた会えてうれしかったです!!



山本 益実先生

雄大な自然、そしてあらかで包容力のあるカナダに接しました。



西代 野口絵美

カナダは本当にすばらしい。何回でもいきたい良い所です。



西代 根本照子

一回行ったらとりにこにしよう町!! すべてがダイナミックに感じました。



結佐 村田有佳

昨年、我が家に来た子の家にステイしました。もう姉妹同然です!



三島 薄井千春

自然だけでなく、人の温かい『心』に触れる事が出来た様に思います。



福田 板橋弘実

カナダの美しい大地で、素敵な思い出がたくさんできました。



潮来市 小林 望

初めてのホームステイで、すばらしい体験ができてよかったです。

我家とサーモンアームの交流

第5回親善大使

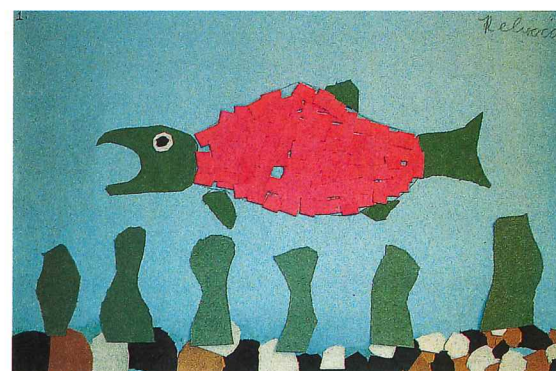
市 崎 飯 塚 貴 子

我家で最初にホームステイを受け入れたのは、第1回親善大使の柔道好きのマットさんでした。それを機に毎年のように3月になるとカナダからの来客があります。3年前、初めて大人の方を受け入れたのがナッシュさんとの出会いでした。そして昨年、ナッシュさんが「友情の家」建設の為に来町、2年ぶりの再会でした。滞在中、忙しい父に代わり、案内役をかってでた私に「自分は第2の父親」だと言ってくれました。その言葉に甘え、昨年9月に従姉と2人でサーモンアームのナッシュさん宅を訪れました。ナッシュさん一家は私達を温かく迎えてくれ、また多くの貴重な体験をさせてくれました。私にとっては6年ぶりのサーモンアームでしたがそこには発展した町並と変わらない美しい自然がありました。何度訪れてもすばらしい街です。ぜひ多くの人に訪れていただきたいと思います。そして、そのすばらしさを感じてほしいと思いました。



ナッシュ一家と飯塚さん(右端)

サーモンアームから子供たちの夢のせて



昨秋の産業文化祭で、サーモンアーム市を含む近郊の小中学校の子どもたちの描いた絵画が展示されました。「わたしの住む街」をテーマに多様な発想で紹介されたサーモンアーム市を楽しむことができました。

年明けには東町の子どもたちの力作もサーモンアームへ送られ、絵画を通しての親善も深められています。



姉妹都市によせて

ダック・ピアソン

When we first began the twinning and exchange between Azuma-Machi and Salmon Arm in 1989, I mentioned that it was the beginning of building a House of Peace and Harmony between our two communities. In fourteen years the many bonds of friendships and memories established among our students and citizens has truly led us to this House of Peace and Friendship.

By developing and sustaining our friendship over the years, your children have become part of our families and our children have become part of your families. It is through this genuine twinning relationship that we have built an international culture of understanding and friendship between Japan and Canada.

I am proud of all the citizens and children of Azuma and Salmon Arm who have committed and dedicated their time and care to nurturing this twinning relationship. To me our relationship is for a lifetime and the basis for living harmoniously together in the world. May our twinning endure for generations and that we smile in our hearts whenever we think of each other.

〈プロフィール〉



姉妹都市提携当初より交流事業の中心的存在であり、青少年親善交流の育ての親。

現在はサーモンアームを含む広域を統括するノースオカナガン・シュースワップ教育事務所の教育長として活躍中。

〈要旨〉

1989年、東町とサーモンアームが姉妹都市としての交流を始めた時、私は両方の町の平和と調和の建設が始まると言いました。

そして14年間、多くの学生と社会人の交流を重ねるにつれて、この交流は本物になり、カナダの友好と国際文化を築き上げてきました。

この交流に携わった東町とサーモンアームの人々に感謝しますと共に、これからもずっと継続されるよう、私も生涯かかわっていきたいと思います。

1990 2004 姉妹都市ありかえる交流15年

結ばれた
深い友情

1990.4.11

姉妹都市提携調印式（東村役場）▶



1998.7.25 友情の門竣工式（交流10周年記念事業）



2002.3.30 友情の家竣工式



ラフティングに挑んだ
アツい夏



成田山新勝寺を散策
「願いごとはナニ？」



さよならパーティにて
インディアンダンス
を披露



日本の伝統文化書道に挑戦



メン、ドウ、コテ！剣道に汗を流す

東町・サーモンアーム市 友好の記録

—— 交流15年のあゆみ ——



姉妹都市交流を振り返って

東町町長 坂本 允

この姉妹都市交流事業がスタートして早15年。交流締結をサーモンアーム市へ呼び掛けたのは1989年でした。サーモンアーム市より返事をいただき、故成毛村長、岩崎補佐と共に3人で訪問の上関係締結に合意し、1990年4月に当時の市長スミス御夫妻をお迎えして調印達成。そこから両地域の交流活動がスタートしました。以降多くの住民・青少年の相互訪問が実現し、本事業の目的が達成されてまいりました。

今後とも交流事業に一人でも多くの皆様に参加していただき、未来のある若者が世界に目を向けて大きく翔いてくれることを願っております。

これまでの多くの協力者の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

◆ 姉妹都市交流の経過 ◆

1988.12.17	東村長からサーモンアーム市へ姉妹都市提携の打診を行う。	6.11	日本式四脚門「友情の門」建立技術者5名を派遣
1989. 1.25	サーモンアーム市長から議会において提案を満場一致で可決した旨の返事が到着。	7.24	第8回 青少年親善大使派遣（21名）
6.22	東村長からサーモンアーム市へ今後の友好親善の協議提案を行う。小・中学生の絵画等を送付。	7.24	第3回 姉妹都市一般訪問団派遣（14名）
8.20	姉妹都市提携事前訪問。 成毛 平昌 村長 坂本 允 議員（現町長） 岩崎 昭一 総務課長補佐	7.25	【「友情の門」竣工式】（交流10周年記念事業）
11.3	第8回産業文化祭において、サーモンアーム展を開催 サーモンアームより贈られた小中高生の絵画作品等を展示紹介	1999. 3.21	第8回 サーモンアーム親善訪問団来町（16名）
1990. 4.10	サーモンアーム市スミス市長夫妻来村。	4.11	カナダのジョン・クレティアン首相から、両市町の姉妹都市交流10周年を祝う親書が、東町に贈られる
4.11	【姉妹都市提携調印式】（東村役場にて）	7.24	第9回 青少年親善大使派遣（13名）
7.28	第1回 青少年親善大使派遣（17名）	9.30	オカナガン大学と交換留学の協定を結ぶ
1991. 3.26	第1回 サーモンアーム親善訪問団来村（20名）	2000. 3.26	第9回 サーモンアーム親善訪問団来町（23名）
7.26	第2回 青少年親善大使派遣（13名）	2000. 5. 5	第4回 姉妹都市一般訪問団派遣（11名）
1992. 3.20	第2回 サーモンアーム親善訪問団来村（23名）	7.23	第10回 青少年親善大使派遣（16名）
1993. 3.28	第3回 サーモンアーム親善訪問団来村（25名）	2001. 3.24	第10回 サーモンアーム親善訪問団来町（25名）
7.30	第3回 青少年親善大使派遣（21名）	7.22	第11回 青少年親善大使派遣（11名）
1994. 7.29	第4回 青少年親善大使派遣（14名）	2002. 3.14	カナダ式ログハウス「友情の家」建築者（市長等）5名来町
1995. 3.26	第4回 サーモンアーム親善訪問団来村（25名）	3.24	第11回 サーモンアーム親善訪問団来町（25名）
7.31	第5回 青少年親善大使派遣（12名）	3.30	【「友情の家」竣工式】
8. 3	第1回 姉妹都市一般訪問団派遣（12名）	2002. 7.27	第12回 青少年親善大使派遣（10名）
1996. 3.24	第5回 サーモンアーム親善訪問団来村（23名）	11. 2	第21回産業文化祭において、絵画作品を特別展示 サーモンアームより贈られた小中学生の絵画作品等を展示（絵画交流事業）
7.30	第6回 青少年親善大使派遣（13名）	2003. 2. 1	サーモンアーム市教育フェスティバルにおいて、東町の小中学生の絵画作品等を展示（絵画交流事業）
9.25	第2回 姉妹都市一般訪問団派遣（10名）	3.22	第12回 サーモンアーム親善訪問団来町（20名）
1997. 3.23	第6回 サーモンアーム親善訪問団来町（22名）	2004. 3.27	第13回 サーモンアーム親善訪問団来町（21名）
7.28	第7回 青少年親善大使派遣（20名）	8.17	第13回 青少年親善大使派遣（11名）
1998. 3.22	第7回 サーモンアーム親善訪問団来町（18名）	8.17	第5回 姉妹都市一般訪問団派遣（6名）
		2005. 2. 1	姉妹都市提携15周年事業 カナディアンロックー絵画展（横関新一氏）開催を予定

ようこそ東町へ

ゲストとともに 2002.3.23~31



▲ボーリングの腕くらべ



▲テレビゲームに興じる



さよならパーティーで
記念撮影

ホストファミリーのみなさん

黒沼健太(高1本 新) 黒田篤史(高1伊佐部) 宮本直人(小6釜 井)
板橋 葵(中3福 田) 森田菜保(高1町 田) 宇佐美喬子(大1西 代)
根本照子(高2西 代) 篠田由貴子(高1結 佐) 奥澤 翔(高1伊佐部)
村田まさ(一般 結 佐) 芳陵恵子(一般 上之島) 塚本みち子(一般 河内町)
吉田 薫(一般 伊佐部) 小川喜三雄(一般 光 葉) 山口勝夫(一般 市 崎)
黒田保彦(一般 上須田) 新里清子(一般 西 代) 根本照恵(一般 結 佐)
木内義延(一般 押 砂)

(*学年は当時)

▶団長夫妻 吉田家のお孫さんと



INFORMATION

○中学生、高校生、一般成人をカナダへ派遣

今年も姉妹都市カナダ・サーモンアーム市へ青少年親善大使の派遣を予定しています。一週間のホームステイを通し異国の文化とカナダの大自然を体験してみませんか。今夏は、一般訪問団派遣も計画中です。詳しい募集案内は広報あずま4月号に掲載します。

○姉妹都市交流委員会にご協力を!

委員会では、青少年親善大使派遣事業、ホームステイ受入れ事業、文化祭への参加など、幅広い交流の推進を展開しています。皆さんのサポートをお待ちしています。

○姉妹都市親善使節団来日

今年もカナダ・サーモンアーム市から親善使節団が来町し、3月22日から3月30日までの間、ホームステイにより滞在し交流を深める予定です。ご協力をお願いいたします。

○「友情の家」の貸出し

友情の家利用を希望される方は生涯学習課(総合センター)へお申込み下さい。TEL 79-0053

友情の家建設者ホストファミリーのみなさん

坂本 允(一般 西代) 飯塚 幸一(一般 市崎)
板橋 要(一般 市崎) 永長 均(一般 幸田)
クリス・フィリアトロー(一般 下総町)

編集後記

文化祭では、カナダの子供たちの絵が初めて展示されました。絵はどれも表情が豊かで、個性あふれるものでした。風土、生活習慣など、異なった環境の中では、見る目、表現の仕方など、全く違うことを改めて感じさせられ、軽いカルチャーショックを受けました。この後学校へ巡回展示されました。「友情の家」も利用されています。皆様もここでパーベキューなどして、ちょっぴりカナダを味わってみませんか。

井上・小川